

【4年生 総合的な学習の時間 ワンシーン】

先生と一緒に



ペア



個人

グループ



久美浜小学校は、文部科学省よりリーディングDXスクール事業の指定を受け、1人1台端末とクラウド環境を活用した効果的な教育実践の創出・モデル化を推進をしてきました。その成果物の一端を発信致します。1人1台端末の効果的な利用促進の実証実験として「できるところから少しずつ」学年毎に進めていき、中学校との接続も意識しています。

なお、この「リーディングDX事業『久美浜小学校研究実践資料』」は本校ホームページにも掲載しています。

実践の概要

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実～授業～

「端末の持ち帰りによる家庭学習の充実」

「校務の効率化、Teamsのチャット機能で情報共有の円滑化へ」

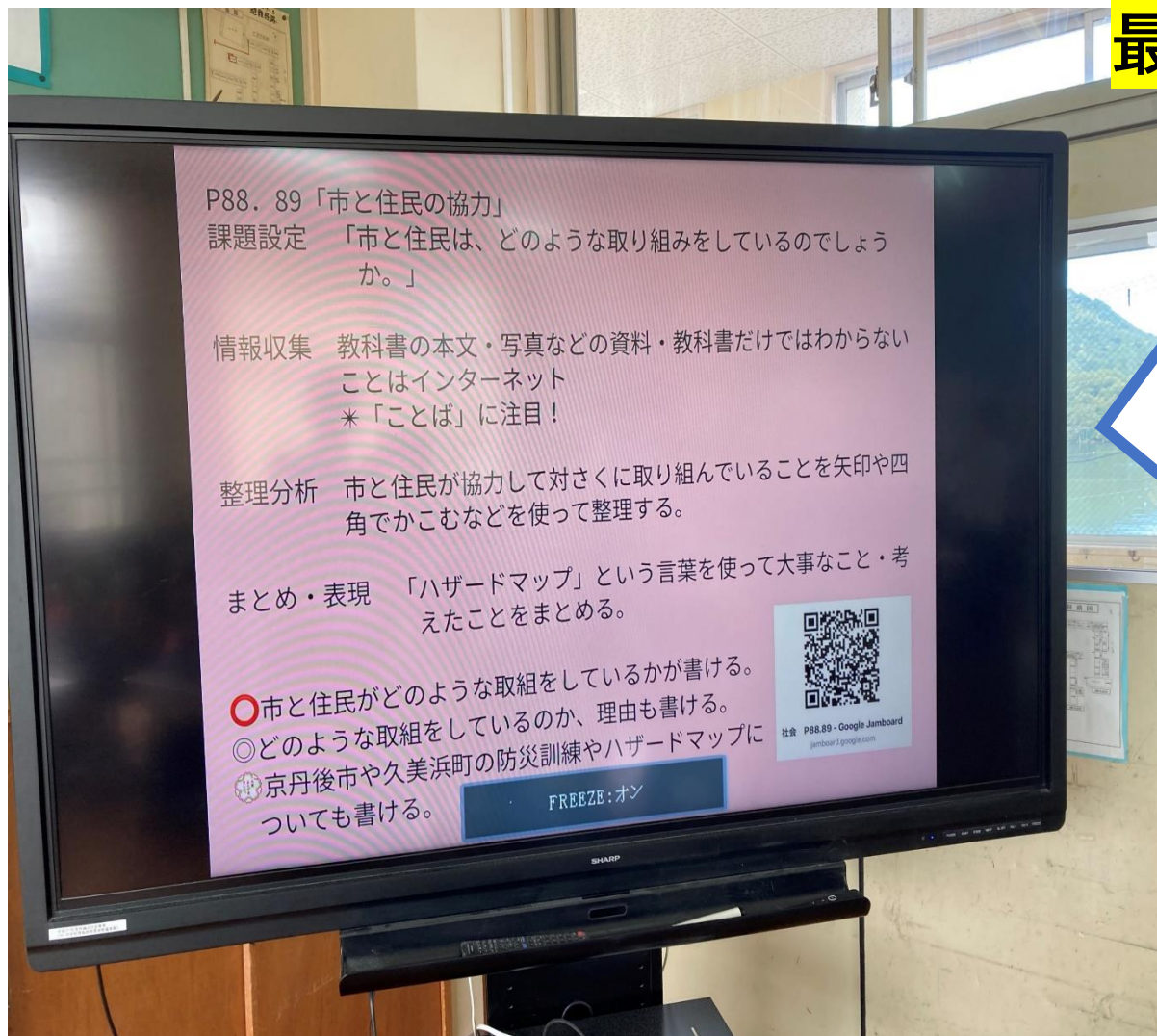
「協働的で積極的な教員研修」



取組 内容	実践事例の概要	様式
①	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 ～日々の授業で 4年生～ ・授業の学習過程を、「課題設定」「情報収集」「整理分析」「まとめ表現」で整理し進める。	B-1
①	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 ～複線型の授業 4年生～ ・児童自ら学び方を決め、自分のペースで学習を進める。教師も新しい学び方、授業へ挑戦！	B-2
①	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 ～班をベースに、6年生社会科～ ・学習形態は班単位。情報の整理分析にシンキングツールを活用し自分たちで学び方を選択！	B-3
①	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 ～複線型の授業② 4年生社会科～ ・課題に向かいにくい児童も自ら情報収集しまとめ意欲的に課題に向かえるような変化も！	B-4
①	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 ～3・5年生等 学年間で波及～ ・一歩踏み出し見えてくるものが…社会科を中心に他学年にも広がり、できる所から挑戦へ	B-5
③	「端末の持ち帰りによる家庭学習の充実」 ～長期休業中の課題に設定～ ・発達段階、学級の実態に合わせ、授業に直結した課題提示で授業と家庭の学習をつなぐ	B-6
③④	「校務の効率化や協働的な教員研修、端末の持ち帰りによる家庭学習の充実」 ・積極的なICT活用による校内研修の創出、学校と家庭の学びの連続性の意識化	B-7
③	「校務の効率化、Teamsのチャット機能で情報共有の円滑化へ」 ・まずは教職員自身がICT活用を積極的に活用し情報伝達の便利さを広げ、確実な業務改善へ	B-8
④	「協働的で積極的な教員研修」 ・低学年から生活科等でのタブレットの使い方を段階的に指導、情報活用能力を育成	B-9
④	「協働的で積極的な教員研修」 ・学び方を身につけ、自分で学ぼうとする主体性の向上	B-10
④	「協働的で積極的な教員研修」 ・教員も新しい学習形態に慣れ、トライ＆エラーを繰り返しスキルの向上へ	B-11
④	「協働的で積極的な教員研修」 ・新アプリ（ジャムボード）を使い、研究授業における意見交流が瞬時に実現	B-12

【取組内容①】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 ～日々の授業で 4年生～

最近の授業より



4年生の社会の授業です。電子黒板に大きく今日の授業の学習過程が示されています。学習過程は、「課題設定」，「情報収集」，「整理分析」，「まとめ表現」で整理されています。

子どもたちは、これをみながら自分たちで学習を進めていきます。

【取組内容①】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 ～複線型の授業 4年生～

4年生 社会の授業風景



授業の学習過程を確認した後、子どもたちはそれぞれ自分で学び方を決め、自分のペースで学習を進めていきます。

担任の先生によると、まだまだこちらから自分で好きなようにペアになったりグループになったり動くことを促さないと、なかなか動けないとのことでした。

教師も子どもたちも、少しずつ新しい学び方、授業に挑戦しています。

【取組内容①】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 ～班をベース 6年生社会科～

6年生 社会の授業風景

6年生も学習過程は電子黒板に示し、「課題設定」，「情報収集」，「整理分析」，「まとめ表現」で整理

この授業では、最初から学習形態は班単位で行うように指示。情報の整理分析の仕方は、各班に自分たちがやりやすい方法を選ばせていました。担任の先生によると、班によっては整理分析に使うシンキングツールが、内容にふさわしくないものもあったので、そういった時はアドバイスをしていたそうです。

6年生でも、少しずつステップを踏みながら、新しい授業のあり方に挑戦しています。

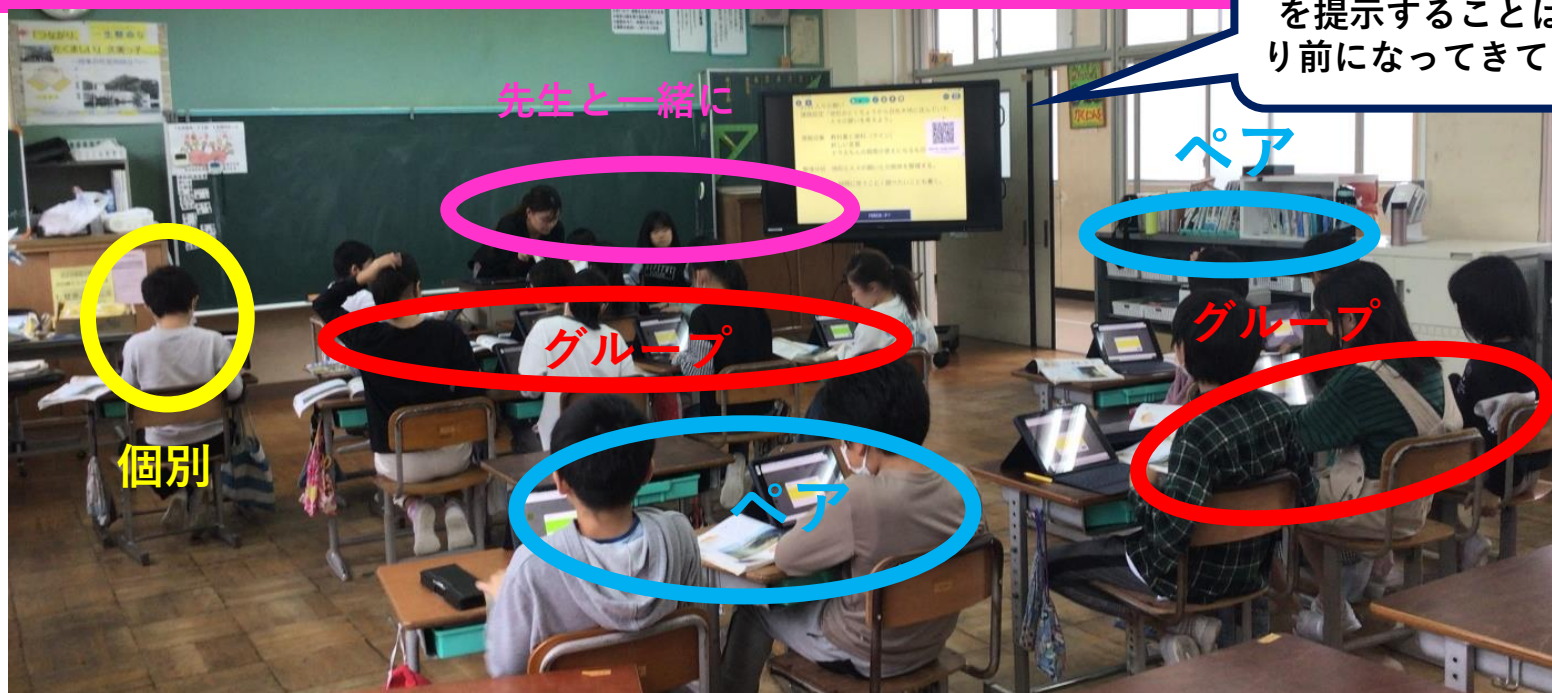
☆できるところから少しずつ☆

【取組内容①】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実～複線型の授業② 4年生社会科～
・課題に向かいにくい児童も自ら情報収集しまとめ意欲的に課題に向かえるような変化も

できることから少しずつ

複線型の授業にチャレンジ（4年社会科）

電子黒板に授業の流れを提示することは当たり前になってきている。



社会科では、教科書やインターネットから情報収集をしつつ、学び方も個別・ペア・グループ等、自分で選択して学習を進めることが多くなっています。この授業形態をとるようになってから、今までなかなか課題に向かいにくかった児童が、自分で情報を収集し、まとめを作ることができ、意欲的に課題に向かえるようになってきました。

【取組内容①】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 ～3・5年生等学年間で波及～
・ 一歩踏み出し見えてくるものが…社会科を中心に他学年にも広がり、できる所から挑戦へ

できることから少しずつ

様々な学年でも、できるところからチャレンジ

社会科の授業は、比較的タブレット端末を使った情報収集やまとめ作業がしやすいようで、社会科から取り組んでいる学年多いです。

5年社会科



一歩踏み出すことで、見えてくるものがある。

「自動車工業」についてのまとめを制作。教科書やインターネットから情報を収集して、自分なりにまとめる作業をしていました。まだまだみんな個別にやっているという感じでした。これから少しずつペア、グループなど、学び方を自分で選んで行えるようにステップアップしていきたいです。

3年社会科



「くらしを守る」の学習で、警察官や消防士がどんな仕事をしているのか、今自分が知っている知識をタブレットに書きだしていました。分からないことがあると、自然と友だちに聞きに行ったり、教えに行ったりと、少しずつ学び方が流動的になり始めています。

まだ、自分の考えを友だちに見られることに抵抗がある児童や、文字入力に時間がかかり思うように課題を進められない児童もいます。クラウドで考えを共有することの有用性を感じる経験や、タイピング技能を習得することで次のステップに。

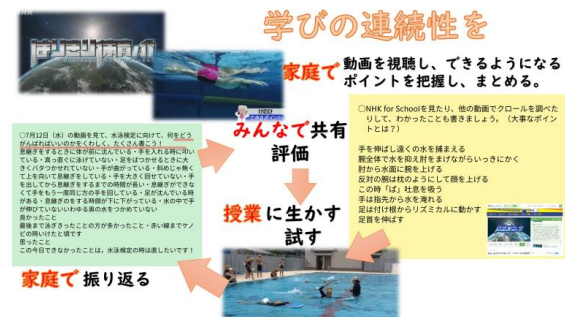
【取組内容③】端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実 ～長期休業中の課題に設定～

今年度、夏休みにはどの学年もタブレットを持ち帰り、観察記録・日記・タイピング等、それぞれの学年の課題に取り組みました。

タブレットを活用した家庭学習

～授業と家庭学習をつなぐ～

京丹後市立久美浜小学校



約束

- ・保護者の目の届くとき（場所）で使う。
- ・学習以外の目的では使用しない。



取り組んだ記録を提出 ⇒評価



発達段階、学級の実態に合わせて、授業に直結した宿題になるように！

【取組内容③④】校務の効率化や協働的な教員研修

端末の持ち帰りによる家庭学習の充実

本校の、生活科・総合的な学習の時間の研究に、リーディングDXを生かす。

導入として・・・まずは

Jamboard（ジャムボード）へのアクセス

付箋のツールとして有効なことをみんなで体験

⇒結果、授業展開で活用できそうなことを理解

⇒指定校限定で、ジャムボードの使用可となったそうです。今後、あらゆる場面で大いに活用していきましょう！

1 校内研修とリーディングDX（ICT 活用）

校内研修

生活科・総合的な学習の時間

「生き生きと表現し、主体的に学習する子どもを育成する生活科の創造」

～自分・人・地域がつながり、かかわる～

両輪で進めていく

リーディングDX

- ・先進的な実践例の創出・全国展開
- ・教科横断的プログラムの開発
- ・GIGA スクール構想のための調査・分析

とはいえ、GIGA スクールの基盤作りは難しそう。

でも、しんどいのは初めだけで、乗り越えたらものすごくより良い授業作りが可能になる！！

イメージ図

目指すは、
各教科の探究化



しかし、まずは
こちらから

探究的な学習のイメージ



基盤に、リーディングDX（情報端末）

2 校内研修の進め方

基本的には、日々の取組の蓄積

ゴールのイメージは共有

それぞれの先生が、
それぞれのペースで
それぞれSTEP

※ミスしたこと、うまくいかなかったこともどんどん実践の共有を！ミスしたっていい。記録をのこしていいことで、改善を図ることができるから、とにかく日々の実践の共有・対話をしていきましょう！

家庭と学校での学習のつながり

学びの連続性を



家庭で動画を視聴し、できるようになるポイントを把握し、まとめる。

○NHK for Schoolを見たり、他の動画でクロールを調べたりして、わかったことも書きましよう。（大事なポイントとは？）

みんなで共有

評価

授業に生かす
試す

家庭で振り返る



手を伸ばし遠くの水を捕まえる
腕全体で水を抑え肘をまげながらいっきにかく
肘から水面に腕を上げる
反対の腕は枕のようにして顔を上げる
この時「ば」吐息を吸う
手は指先から水を流れる
足は付け根からリズムカルに動かす
足首を伸ばす



できるところから少しずつ

【取組内容③】「校務の効率化、Teamsのチャット機能で情報共有の円滑化へ」

- ・まずは教職員自身がICT活用を積極的に活用し情報伝達の便利さを広げ、確実な業務改善へ

校務のICT化の取組

できることから少しずつ

1 目的

- ・情報共有をより円滑にする。

2 チャットの活用

Teams内にあるチャット機能を使えば、1対1や複数でメッセージのやりとりをすることができます。
連絡事項を伝達する際に教室まで伝えに行ったり、ふせん等を書いて机に貼り付けたりしていましたが、チャットだと瞬時に情報を伝えられますし、ふせんがどこかに行って情報が散逸する危険性もなくなります。

①活用できそうな場面

- ・保護者から「今日は学童休みます。」「病院に連れて行くので〇時に迎えに行きます。」といった連絡を受けたとき。
- ・教室から欠席状況を確認したいとき。
(コメントを打ち込むのが手間な場合は通話機能もあります。)

②お願いしたいこと

- ・着信音が鳴るように設定する。
- ・タブレットを教室に持って行く。
- ・こまめにチェックする。
- ・メッセージを確認したらなるべくいいねなどのリアクションをする。

チャット機能 音声通話機能 の活用



先生たちの声

- ・チャット機能は簡単に連絡事項を伝えておくことができて便利。
- ・急ぎの用件の時は、音声通話がすぐにやり取りできて便利。
- ・ちょっとした要件があるときも、わざわざ教室に尋ねていかなくても連絡が取れるのはありがたい。
- ・職員室に戻ったときに確認しようと思っていたら忘れていたということもあるけれど、その場で直ぐにチャットすれば、忘れることが少なくなる。

【取組内容④】協働的で積極的な教員研修

低学年から生活科等でのタブレットの使い方を段階的に指導、情報活用能力を育成

10月
校内研より

1 校内研修とリーディングDX (ICT活用)

校内研修

生活科・総合的な学習の時間
「生き生きと表現し、主体的に学習する子どもを育成する生活科の創造」
～自分・人・地域がつながり、かかわる～

両輪で進めていく



リーディングDX

・先進的な実践例の創出・全国展開
・教科横断的プログラムの開発
・GIGAスクール構想のための調査・分析

指導案、生活科の学習について

- 生活科（低学年）でのICT活用

直接体験



間接体験



どちらも

Kiichiro OKUBO 京丹後市立久美浜小学校 All Rights Reserved

自分が記録したい、
表現したいと思った
時に、教師に言われ
なくてもパッと使う
ことができる。

どの学習過程でも

生活科の学習過程

単元単位、1時間単位

指導案、生活科の学習について



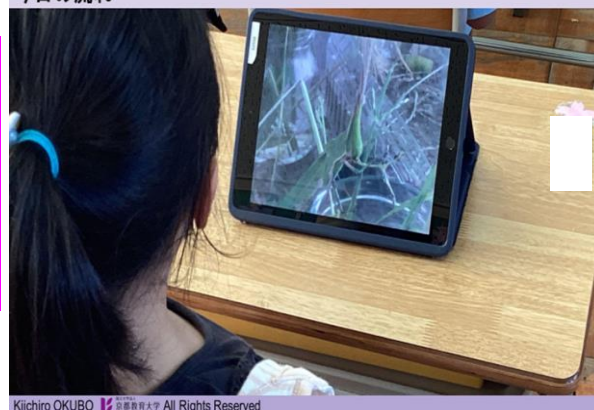
学習の基盤となる資質・能力
としての情報活用能力

Kiichiro OKUBO 京丹後市立久美浜小学校 All Rights Reserved

京丹後市立久美浜小学校

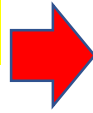
タブレットの使
い方をきちんと
指導しておくこ
とが大切。

今日の流れ

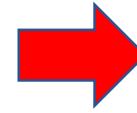


Kiichiro OKUBO 京丹後市立久美浜小学校 All Rights Reserved

自ら学習を進めていけるように、学び方を身につけることが大切。



教科書の構造を教える。
資料の読み方・本文との対応を教える。



10月の校内研より

自分で学べる。

今日の授業から考えたいこと



? 子どもは教科書を読めているか?

Kiichiro OKUBO 京都教育大学 All Rights Reserved

教科書の情報の構造を教える



Kiichiro OKUBO 京都教育大学 All Rights Reserved

1人1台端末環境で求められる授業観、学習観



Kiichiro OKUBO 京都教育大学 All Rights Reserved

社会に出た時に役に立つ力を付ける。

【取組内容④】協働的で積極的な教員研修

・教員も新しい学習形態に慣れ、トライ＆エラーを繰り返しスキルの向上へ

新しい学習形態に、チャレンジし、慣れていくことが必要。

10月の校内研より

個別、ペア、グループ、それぞれ自分で学習形態を選んで学んだ後、学習のまとめはするんですか？→しません。そのま
スッと終わります。慣れるまでは不安になりますが、それで大丈夫です。

本当に、このまま終わっているの？と不安になります。（担任）

学びが確かなものに向かうためには、それまでに学び方（情報収集、整理分析）がしっかり身に付いていることが必要。

出来ていなかったら、もう一度押さえ直す。

活発な質問や意見交流が行われました。



意見や考えを全体で交流したりしないのですか？→しません。子どもたちは勝手に集まって議論をするようになります。

トライ＆エラーの繰り返し

子どもたちがたどり着いた結論が間違っていたらどうするんですか？→**基盤がしっかりしていれば、正しい結論に達します。** そうならないということは、**基盤がしっかりできていない。** 必要であれば、押さえるところをしっかりと押さえ直します。

課題設定は難しいという話もありました。

今日の授業から考えたいこと

- 【課題設定】
 - ・学習課題を作る
- 【情報収集】
- ・
- 【整理分析】
- ・
- 【まとめ表現】
 - ・自分が特に学習を深めたいポイントを自分の言葉でまとめる



学習課題はどうやって作れるか？班？個人？

【取組内容④】協働的で積極的な教員研修

- ・新アプリ（ジャムボード）を使い、研究授業における意見交流が瞬時に実現

研究授業の参観を、タブレット持参で新アプリに気づきを入力しました。

10月の校内研より

ジャムボード
を使って、気が
付いたことをど
んどんアップし
リアルタイムで
みんなの気づき
を知ることが
できました。

出てきた意見
や考えをその場
で分類すること
もできました。

気が付いたことをその場で入力中



成果

- ・すぐに様々な先生方の考えや意見を知ることができてよい。
- ・事後研に出られない先生方の考えや意見も知ることができるのでよい。

課題

- ・キーボード入力するために、台があるとよい。

京都教育大学 大久保 紀一郎 先生 指導講評

今年度の大きな**成果**は、情報端末とクラウドシステムが授業の基盤として機能し始めたということです。GIGAスクール構想が実現する以前のICT活用は、どちらかというと教師が効果的だと考える場面で、使い方を指示して活用させていました。それは限られた環境ではそうせざるを得なかったという側面もあります。今年度の久美浜小学校では、限られた場面での特別な活用ではなく、学習者である児童自身が、学習を主体的に進めやすくするために、情報端末やクラウドシステムを活用する場面が見られるようになりました。基盤としての情報活用能力が育成されてきたことで、これまでクラス全員が一斉に、同じ内容を同じ方法で同じタイミングで進めなくてはならなかった授業が、子どもたちが自分で考え、自分のタイミングで自分に適した方法で進める授業に変わってきました。

これからの**課題**としては、今年度の成果を基盤としつつ、いよいよ授業改善の本丸への取組となります。子どもたちが選択している学習方法は適切か、教科の学習として深まっているかということを考える段階です。子どもたちの学びを支える学習環境を、情報端末とクラウドシステムも活用して整えられているか、そこで求められる教師の役割を再考し、指導や支援を実践することで更なる授業改善が進むものと考えられます。更なる成果が生み出されることを期待しています。

* 大久保先生には、本校の重点研究の推進に今年度継続的に指導していただいており、併せてリーディングDX事業においても日々ご指導して頂いています。令和5年11月30日

あしがき

久美浜小学校では、本年度京都府小学校教育研究会生活科の研究協力指定校として研究を進めその1年目を迎えています。「個別最適な学び」はもとより、特に「協働的な学び」における「人、地域とのかかわり」を通した多様な他者との協働を生活科や総合的な学習の時間を核に一体的に進めています。研究主題を「生き生きと表現し、主体的に学習する子どもを育成する生活科の創造」に据え、生活科や総合的な学習の時間においては、児童自らが主体的に課題を持ち探究できる授業を通し「①人や地域のことを考えるようになる。②人とのつながりを意識した単元構想を明らかにした実践により、地域に対する気持ちに変化を生み出せるようになる。」という研究仮説を立て、全学年で授業研究及び授業公開等積極的に進めてきました。

こうした状況の中、今年度リーディングDX事業「1人1台端末とクラウド環境を活用した効果的な教育実践校」の指定も受け、研究推進と併せて進めていく中で、児童が主体的に課題を持ち、探究できる授業を生み出すことにつながれば良いと考えました。まだまだ一部ではあるものの配慮を要する児童等にも学びに変化がみられるようになっており、少しずつではありますが、手応えを感じています。今後も、本事業での学びを有効に活用し、本校の目指す「つながり たくましい 一生懸命な 久美っ子」像に近づけられるようにしていきたいと思います。今後も引き続き、こうした成果物の発信は続けていきます。（本校ホームページにも掲載しています。）

京丹後市立久美浜小学校

令和5年12月5日